

熊本コアミックス エンリコさんからの総評

僕はローマ出身ですけど、イタリアという場所と熊本は非常に似ていると思います。名産品にトマトとスイカがあって、食べ物の味も割と似ているなど熊本に来てから気付きました。僕は熊本のまちづくりが大好きなので今回の作品を読んで非常に感動し、共感しました。

イタリアでも日本でも熊本でもマンガというのはどんな文字でも楽しめるメディアだと思っていただくことが今回のマンガ制作で大事なことになるのかなと思います。

皆さんは自分の中に描きたい作品の世界があると思いますので、これからマンガを描く時に、今日あったフィードバックをそのまま全部採用しなくても大丈夫です。

マンガを作る時に読者がページをめくりたくなる気持ちにさせるということは一番大事なことになるので、もっとシンプルかつ魅力的な絵を描けるようになってほしいと思います。

熊本コアミックス 上田さんからの総評

初めてマンガを描いてみて大変だと思われた方も多いと思います。うまくいくにはどうすればいいか悩まれたと思います。

僕からのアドバイスとしては、是非マンガ以外のことをいっぱい経験してください。

友達や家族と笑ったり泣いたり怒ったり、きれいな景色をみたり、映画をみたり、小説を読んだり、マンガ以外のことがこれからのみなさんの大きな財産になると思うので、是非マンガ以外のことをたくさんやってほしいです。

もしきついことやつらいことがあった時は、「これをいつかマンガにしてやろう」と思うと少し楽な気持ちになることもあると思います。是非、皆さん色々な経験をして、またマンガを描いてくれたらいいなと思います。

作画指導 さいきゆみさんからの総評

マンガ以外の経験はとても大事で、実際に動くことと感情が動く経験をすること。絵師の中には自分が本当に苦しかったことを絵に描く方もいます。苦しかったことを絵に描くというのは見る人のキャパシティがあるので暴力的なシーンには注意が必要ですがそれ以外の自分のネガティブな気持ち、悔しいと思った感情を悪いものだと捉えないでそれを表現してもいいと思っています。

最初は真っ黒しか描けなくても、その後ポンポン（自分なりの）色を獲得していく方を何人も見えています。心を動かして、心を観察する。絵のタッチは流行りがあるし、絵の上手い下手は見る人が勝手に決めることなので、本当に気にしないでいいですね。

自分が納得して描いているものであれば人に何か言われても言い返すくらいの気持ちで描いていいと思います。だから心が動く体験をして、心を観察していただけたらと思います。

中央区役所 岡村区長からのメッセージ

皆さんのマンガを読ませていただきましたけど本当に素晴らしい作品でした。今回は地域活動をテーマとしたマンガを描いていただきました。地域活動というのは一人の人間のみでやっていけるものではありません。みんなが寄り添いながら支えながら活動しなければならない。これはマンガにおいても同じだと思います。みなさんには色んなことを体験しながら、生活をしながら、そして、好きなマンガを描き続けていただけたらと思います。

マンガに出てきた「まちづくり活動」

環境美化・清掃活動

小さな子どもからお年寄りまで、誰でも気軽に参加できる活動です。マンガにもでてきた「みんなのために」をモットーにキレイで安心なまちづくりへ一歩踏み出してみましょう。

子ども食堂

地域みんなが交流できる場所、くつろげる居場所づくりを目的として活動しています。住民のコミュニティが活発になることで、住みよいまちづくりへとつながります。

e - スポーツ (UDe - スポーツ)

ユニバーサルデザイン化された e - スポーツは、年齢や障がいに関係なく参加できる競技として今注目されています。認知症予防や生きがいづくりなど住民同士の交流促進にもつながります。交流が活発になることで、地域の活性化につながります。

完成した作品は、熊本市ホームページでも読むことができます

熊本市まちスク

検索



こちらからアクセス
できます

発行日 令和6年(2024年)1月

発行元 熊本市中央区まちづくりセンター
熊本市中央区手取本町1番1号
TEL(096)328-2232

発行：熊本市中央区まちづくりセンター